

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371601150
事業所名	グループホーム ファミリア植田

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会には、法人理事が加入し地域情報を得ている。地域の神社の餅投げや夏祭り、隣接する公園のイルミネーションを楽しんだりクリスマスイベントなどに参加して交流を深めている。行事食は、地域のボランティアの協力で食材や調理の提供を受け一品添えるなどして食事を楽しんでいる。スーパーでの買い物や公園の散歩時に出会う地域の方と挨拶を交わしたりしてふれあうことを楽しんでいる。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 入居者や家族、地域代表、いきいき支援センターの職員の参加を得て年6回開催している。事業所の日ごろの活動の報告や施設の状況や地域との情報交換などが行われている。参加者からの意見や要望は、話し合い検討して運営に反映させたり改善を図っている。家族や地域関係者に、会議の案内を文書で出しているが参加が希薄である。民生委員が今年度12月より参加される予定になっている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の担当窓口に出向き、代行申請やサービスの内容など伝えたり情報やアドバイスを受けていたりして良好な協力関係を築いている。東部いきいき支援センターの職員からは、地域の情報や相談を受けより良い運営ができるよう努めている。年2回介護相談員の訪問を受け個別ケアの向上や改善に繋げている。市の研修や講習会など積極的に参加している。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者の意見や要望は、日常の会話や表情、状態から把握して記録をし、その都度検討してケアに繋げるようにしている。家族からは、電話や面会時や運営推進会議などの折に聞いたり、アンケートを実施したり、意見箱を設置して、意見や要望を聞くように努めている。入居者や家族からの意見や要望は、検討し運営に反映させるよう努力しているが、家族の理解が得られないことや意見や要望に応えられない状況もある。家族には、「ふぁみりあだより」を毎月発行し定期的に送付している。	評価	×
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	×

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	×	○	○	○	○	○	◎	○	×	